

平成30年度 生徒・保護者による学校評価アンケート結果について

京都市立塔南高等学校

1. 生徒アンケート

(1) 11月評価の概況

○多くの質問項目で、「そう思う」及び「ややそう思う」を合わせた評価の割合が高いが、「あまりそう思わない」及び「思わない」を合わせた評価の割合が高いのは、次の項目である。

- ・「塔南高校の先生は、生徒が学習内容を理解しやすいように iPad やコンピュータなどを活用している」
- ・「自分は、つねに十分な家庭学習時間をとっている」
- ・「清掃活動など学校美化に関する意識がもてるよう取り組まれている」
- ・「施設・設備は使いやすく、よく管理整備されている」

○昨年度と同じ質問項目の中で「そう思う」及び「ややそう思う」を合わせた評価の割合が、昨年度に比べて 10% 程度増加している項目は次のとおりである。

- ・「授業は全般的にとてもわかりやすい」
- ・「自分は、授業中つねに授業に集中している」
- ・「自分は、試験に向けてつねに十分な準備をして臨んでいる」

なお、「あまりそう思わない」及び「思わない」を合わせた評価が昨年度に比べて 10% 程度増加している項目は見られない。

○7月評価に比べて、「そう思う」及び「ややそう思う」を合わせた評価の割合が 10% 程度増加している項目は次のとおりである。

- ・「自分は、進路実現に向けて順調に取り組んでいる」（3年生の増加による）
- なお、「あまりそう思わない」及び「思わない」を合わせた評価が 7月評価に比べて 10% 程度増加している項目は見られない。ただし、次の質問項目については、「1・2年生で「あまりそう思わない」及び「思わない」の評価が増加している」
- ・「塔南高校の授業は、どちらかといえば難しい」

(2) 自由記述に多くみられた意見の趣旨

○トイレをはじめ清掃が不十分である。清掃をもっとすべきである。

○荷物を入れるロッカーが欲しい。

2. 保護者アンケート

(1) 11月評価の概況

○多くの質問項目で、「そう思う」及び「ややそう思う」を合わせた評価の割合が高いが、「あまり思わない」及び「思わない」を合わせた評価の割合が高いのは、次の項目である。

- ・「施設・設備は使いやすく、よく管理整備されている」

○昨年度と同じ質問項目の中で「そう思う」及び「ややそう思う」を合わせた評価の割合が、昨年度に比べて 10% 程度増減している項目は見られない。

(2) 自由記述に多くみられた意見の趣旨

○家庭学習や宿題に取り組む指導を充実してほしい。

○学習指導を充実してほしい。

＜結果を踏まえた今後の基本方針＞

本校では、現在の教育活動について課題を検討し、特に次の項目に重点をおいて改善・充実を図ることとしている。

○学習指導の充実

ICT機器を効果的に活用した「わかる授業」を実施するとともに、学力向上の観点から定期考査の内容を改善・充実する。また、家庭学習の実態を把握した上で、宿題や課題テストなどの指導を充実する。

○進路指導の充実

学科・コースごとに、生徒に適切な進路目標を設定させ、キャリア意識向上のための取組やガイダンスを充実する。特に1年生については、高大接続（大学入試）改革に適切に対応した指導を行う。

○学力向上を図る指導の充実

学科・コースごとに、学力到達目標を明確にした学習指導を行い、模擬試験の結果を分析して、指導の方法や内容を改善するPDCAサイクルを確立する。

○学校生活に関わる指導の充実

遅刻をしない生活習慣を確立させるよう組織的に取り組む。また、快適な学校生活を送ることができるように、学校をきれいにする美化意識を高め、清掃活動にしっかりと取り組むよう指導する。

○地域と連携したキャリア教育の研究開発

地域の企業や大学・研究機関と連携して、将来、社会に貢献できる人材を育成するためのキャリア教育を研究開発する。

○学習環境の改善・充実

生徒がICTを活用するなどして主体的・対話的に学ぶことができる学習環境を整備する。また、施設・設備について、使いやすく管理・整備するとともに改善・充実に努める。

学校評価アンケートにおける生徒・保護者の評価や改善を求める多くの意見の多くは、上記の解決すべき課題と関連していると考えられるため、上記の課題の解決を通して生徒・保護者の期待に応えられるよう教育活動の一層の充実を図る。